

## 「子どもの寝顔と笑顔は最高！」

- 6月2日（火）、「NHKプロフェッショナル仕事の流儀」の番組で、青森県五所川原市に住む笹餅職人桑田ミサオさんが紹介されていました。93歳になった今でも自転車で山に行き、笹の葉を採り、材料の小豆から全て手作りでおいしいお餅を作っています。ミサオおばあちゃんの笹餅は市内のスーパーや津軽鉄道のストープ列車などで販売され、すぐ完売するほどの人気商品です。「十本の指は黄金の山」、「一生懸命やることによって、仕事が教えてくれる」という母の言葉を胸に奮闘するととても温かな、餅おばあちゃんの物語でした。

- 私が特に心を動かされた場面は、ミサオおばあちゃんが小さい頃、お母さんと一緒に畑の草取りに行き、お昼ご飯を食べた後、ミサオおばあちゃんはそのまま眠ってしまったそうです。目が覚めたとき、汗を拭きながら草取りをしているお母さんに、「私



を起こしてくれればよかったのに」と言ったら、お母さんは「いいんだよ、ミサオの寝顔があまりにもめんこがったからそのまま寝かせておいたんだ」と答えたそうです。今でもそれを思い出すと涙が出てくると語っていたミサオおばあちゃん。子どもの寝顔には人を

- 癒やしたり、幸せにしたりする不思議な力があります。私は以前、寄宿舍の泊まりで、夜の10時過ぎに各部屋を見回ったとき、子どもたちの寝顔を見て布団を掛けるだけで疲れが取れたような気がしました。

- そして、もう一つ私たちが癒やしてくれるのが子どもの「笑顔」です。今、かづの校では中学部が校内実習の真っ最中です。子どもたちは目標が達成できたとき、できなかったことができるようになったとき、小さな努力が認められたとき、誰かの役に立ったときに笑顔になります。そんな笑顔を見たとき、こちらまで笑顔になります。残り3日、笑顔で終われるように励ましたいと思います。ちなみに、泣き止んだ後の笑顔が、子どもにとって最高の笑顔であると聞いたことがあります。笑顔は言葉を超えた最高のコミュニケーションだと思います。

